

年を重ねて知る



Kiyokawa Tae

清川 妙

人生の深い喜び

年を重ねて知る



Kiyokawa, Tae
清川 妙

人生の深い喜び

〔著者紹介〕 清川 妙（きよかわ たえ）

1921年、山口県生まれ。奈良女子高等師範学校（現・奈良女子大学）文科卒業。教職を経たのち文筆活動に入る。現在、エッセイ、古典評論などの執筆活動のほか、万葉集、枕草子などの講座の講師としても活躍中。

著書には『兼好さんの遺言』『八十四歳。英語、イギリス、ひとり旅』（ともに小学館）、『清川妙の萬葉集』（ちくま文庫）、『わが心の大伴家持』（雄飛企画）、『人生のお福分け』（集英社）、『心の色 ことばの光』（新日本出版社）、『九十歳。生きる喜び 学ぶ楽しみ』（海竜社）ほか多数がある。2014年1月、『古事記の恋』（いきいき）が古事記出版大賞本居宣長賞を受賞。

年を重ねて知る 人生の深い喜び

二〇一四年十月十四日 第一刷発行

著者 清川 妙
きよかわ たえ

発行者 下村のぶ子

発行所 株式会社 海竜社

東京都中央区明石町十一の十五 〒一〇四—〇〇四四

電話 東京（〇三）三五四二—九六七一（代表）

FAX （〇三）三五四一—五四八四

郵便振替口座 〇〇—一〇—九—四四八八六

出版案内 <http://www.kairyusha.co.jp>

本文組版 株式会社 盈進社

印刷所 半七写真印刷工業株式会社

製本所 大口製本印刷株式会社

落丁本・乱丁本はお取り替えます

©2014, Tae Kiyokawa. Printed in Japan

ISBN978-4-7593-1398-7 C0095

目次

一章

愛する亡き人たちと一緒に生きる

風の中にも花の中にも亡き人はいて

年を重ねて生きつづけることは、自分より先に逝いった、
愛する人たちと一緒に生きるということなのですね。……………

いまは、風の中にも、咲く花の中にも、亡き人はいて、
彼らとおなじ空気を呼吸している気さえします。……………

いま与えられている時と、その時の上に生きている、

自分を含めたこの世の人たちの、なんといとしいことでしょう。……………

28

「きみは元気で長生きするよ」という言葉に励まされ、

私は自分に気合いを入れました。出かけよう！……………

37

胸をはり、背を伸ばし、

愉しいこの世にある間^まを持つつもりです。……………

47

二章

きょうも存命の喜びをかみしめる

しきり直してもう一度

生きていく道には、さまざまな困難もあるけれど、
仕切り直して、もう一度生きるわと、心の中で思います。……………56

肩の上にいるもう一人の私は、たいてい、
明るく伸びやかな考えで、心を解放してくれます。……………63

長いひとり旅をすると、心はかぎりなくシンプルになり、
より深く、ものを考えるようになります。……………70

物とのつきあいも人とおなじ。愛した物のいのちを
どこまでもいとしみたい。そう思います。……………78

老感の小さなシッポをつけているときもあるのですが、
そんなシッポなんて決然と、切って捨てることにしました。……………90

三章

一生かけて自分を育てあげる

ああ、勉強つてうれしいなあ

何か好きなことがあつて、それに打ち込む。

それを一生続けて、貫く。そのことが何より大切なこと。……

人間って、一生かけて自分を育てあげていくもの、
いけるもの、なのでですね。……

それ、知らなかった、

ああ、勉強って愉しいなあ、とうれしくなりました。

114

書くことは、頭を使い、手を使って、

いのちの歩みのありようを、とどめ残すことです。

120

もっと、手づくりの、ていねいな時間を

ゆっくり持ちたいと思うのです。

128

目からウロコの感じで、知ってるつもりで

知らなかったことが、合点がいきました。

135

四章

自分で自分を介護する

からだも頭も維持管理して

メンテナン

楽しいことを思いつきました。

自分で自分を介護しよう、と。

.....

142

わが足のため、せめて筋肉^{マッスル}ポンプを動かそうと

意志を持ち、まじめに実行しています。

.....

150

不思議なもので、仕事に向かうとどんなときでも
気合いが入り、ちゃんとこなせるのです。……………159

生きている間は思いつきり充実して、
生きぬき、生ききりたい。……………169

明日のことは予見ができないという、そのことは
老いた人にも若い人にもいえることです。……………175

五章

心深く触れあう人は心の親戚

人のご縁のなんとドラマティックなこと

おつきあいが長く続いたのは、心の波長が合って、

二人が誠実だったから。……………

182

一人一人が人生の道に得た、得がたい白玉。

誠実という心の紐で通じあっている。……………

190

働く自分をねぎらい励ますために、

ホリデイを愉しむ人と意気投合して。……………

198

たとえ血がつながっていなくても、

心深く触れあう人は心の親戚です。……………

204

人生の道の途次にめぐりあう人のご縁の、

なんとドラマティックなことでしょう。……………

213

あとがき……………

220

年を重ねて知る



Kiyokawa, Tae
清川 妙

人生の深い喜び

目次

一章

愛する亡き人たちと一緒に生きる

風の中にも花の中にも亡き人はいて

年を重ねて生きつづけることは、自分より先に逝いった、
愛する人たちと一緒に生きるということなのです。……………14

いまは、風の中にも、咲く花の中にも、亡き人はいて、
彼らとおなじ空気を呼吸している気さえします。……………23

いま与えられている時と、その時の上に生きている、
自分を含めたこの世の人たちの、なんといとしいことでしょう。……………28

「きみは元気で長生きするよ」という言葉に励まされ、

私は自分に気合いを入れました。出かけよう！……………37

胸をはり、背を伸ばし、

楽しいこの世にある間^まを持つつもりです。……………47

二章

きょうも存命の喜びをかみしめる

しきり直してもう一度

生きていく道には、さまざまな困難もあるけれど、
仕切り直して、もう一度生きるわと、心の中で思います。……………56

肩の上にいるもう一人の私は、たいてい、
明るく伸びやかな考えで、心を解放してくれます。……………63